

①表面

※ 1年ごとの願出となっています。

※ 黒か青の摩擦等で消えないボールペンを使用し、本人が自署してください。

猶予願・記入例

奨学金返還期限猶予願

日本学生支援機構理事長 殿

私は、日本学生支援機構奨学金の返還につき、以下のとおり願ひ出ます。なお、本願出にあたり、「行 猶予願を作成した年月日を記入。」を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「貸付法」と称す）第10条第1項第2号に規定するマイナンバー（個人番号）を利用すること及び必要な地「右欄に記入の奨学生番号について希望する」に✓をつけて、免除を申請する

第一種奨学金番号を記入してください

記入日 (西暦) 20XX年XX月XX日

☐	全ての奨学生番号について希望する	奨学生番号	609.04.999998
※必ず奨学生番号を記入してください			
☒	右欄に記入の奨学生番号について希望する		
フリガナ	キ コ ウ ヨ シ コ	生年月日	(西暦) 1990年10月1日生
本人氏名	機構 良子		
本人住所	〒162-0000 東京都新宿区市谷本村町10-	ここに記載の住所を機構の登録住所とします。 現住所とは別に郵便物が確実に届く住所を機構の登録住所とする場合は、余白に登録住所と明記し、住所を記入してください。	
電話番号 (自宅)	03-6743-XXXX	(携帯)	090-2233-XXXX
勤務先	勤務先名 XXXY株式会社	勤務先電話番号	03-XXXX-XXXX
外国居住の場合の日本国内連絡先	〒162-0000 住所 東京都新宿区市谷本村町10-7	連絡先氏名	機構 一郎 (父)
		連絡先電話番号	090-1122-XXXX

【申請内容・期間について】「できるだけ早い時期」から希望する場合は、本機構で適用可能な月から猶予を開始するものとして取り扱います。
希望の猶予開始月以前に延滞された場合は、審査時の次回返還期日を猶予開始月とします。

奨学金返還期限 猶予 を希望する	
希望猶予期間	できるだけ早い時期 (西暦) 年 月 ~ (西暦) 年 月 まで (※12か月以内の期間を記入してください) ※希望猶予期間より前に延滞となった場合は、延滞となった月から猶予を開始します。(最長12か月)
申告	第一種奨学金のうち「猶予年限特例」(平成29年度以降採用者)又は「所得連動返還型無利子奨学金」(平成24~28年度採用者)に該当する方は、以下のどちらかの口にて✓してください。(未記入の場合は審査できません。) 私は、地方税法に定める控除対象の配偶者又は扶養親族(裏面※2参照)となつて いる ☒ いない ☐

【願出の事由】・口にて✓し、事由に応じた証明書を添付してください。マイナンバーの提出により省略できる証明書の添付は不要です。
・通常の返還が困難な事情等がある場合は、【特記事項】欄に記入してください。

事由	☐ 経済困難 ☐ 失業中 ☐ 傷病 ☐ 災害 ☐ 生活保護受給中 ☒ その他 () ※第一種奨学金のうち「猶予年限特例」(平成29年度以降採用者)又は「所得連動返還型無利子奨学金」に該当する方は、「経済困難」及び「その他(新卒等)」による事由のみ適用され、他の事由は通常の返還期限猶予となります。 その他(業績免除申請中)と記入してください
保険証申告欄	証明書一覧に「健康保険証(国民健康保険は不可)の被扶養者欄のコピー」と記載がある事由で申請する場合は、以下の口にて✓してください。 私の健康保険証は ☐ 国民健康保険ではない
【特記事項】 返還期限猶予のご申請にあたり特記事項がある場合は、わかりやすく具体的に記入してください。	
※年間収入が300万円(給与以外の所得を含む場合は所得200万円)を超える方は②裏面を確認してください。	

ご記入いただいた情報は、奨学金事業のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、あなたの情報が、奨学金事業の委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。なお、機関保証制度に加入している方については、保証管理に必要な情報が(公財)日本国際教育支援協会に提供されます。

②裏面も確認してください。

15-05_20210701

※適用希望月の前々月末までに願ひ出てください。